

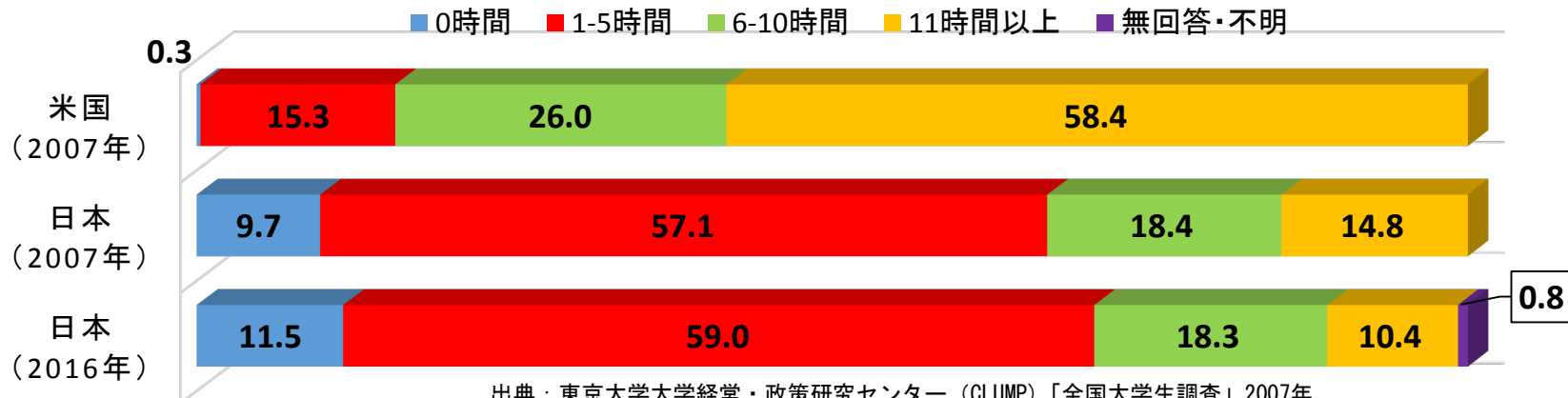
# 今後の採用と大学教育に関する提案 参考資料

2018年12月4日

一般社団法人 日本経済団体連合会

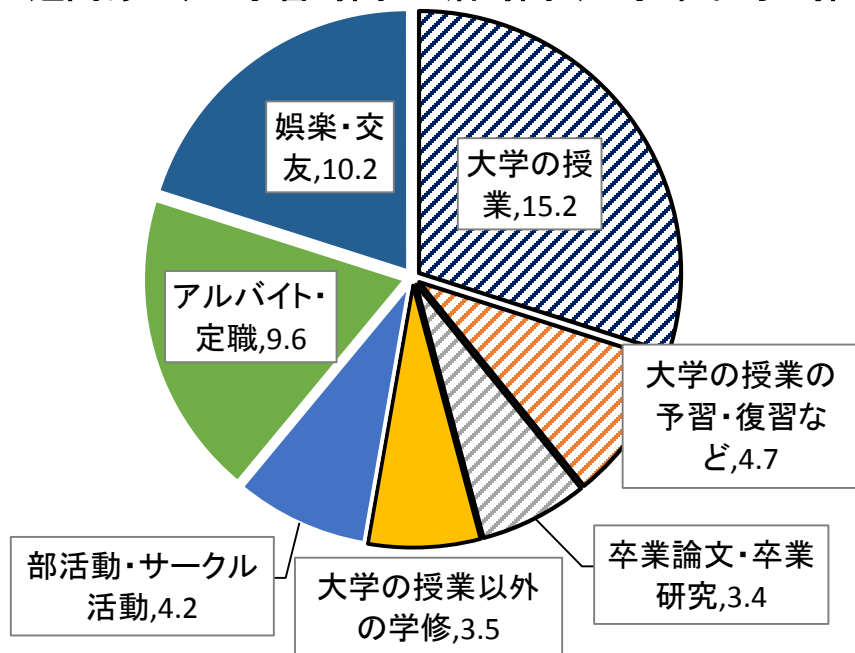
# 大学生の学修状況

## 授業に関連する学修時間（1週間あたり）日米の大学1年生の比較〔%〕



出典：東京大学大学経営・政策研究センター（GLUMP）「全国大学生調査」2007年  
 米国インディアナ大学NSSE（TheNationalSurveyofStudentEngagement）AnnualReport2007  
 国立教育政策研究所「平成28年度大学生等の学習状況に関する調査」

## 1週間あたりの学習時間・生活時間（全学年平均：時間）



- ◆ わが国の大学1年生における授業に関連する学修時間（1週間あたり）は1～5時間が最も多く、2007年と2016年を比較しても大きな変化は見られない。
- ◆ 米国の大学生と比較しても短い。

出典：国立教育政策研究所「平成28年度大学生等の学習状況に関する調査研究」

# 海外大学との協力連携

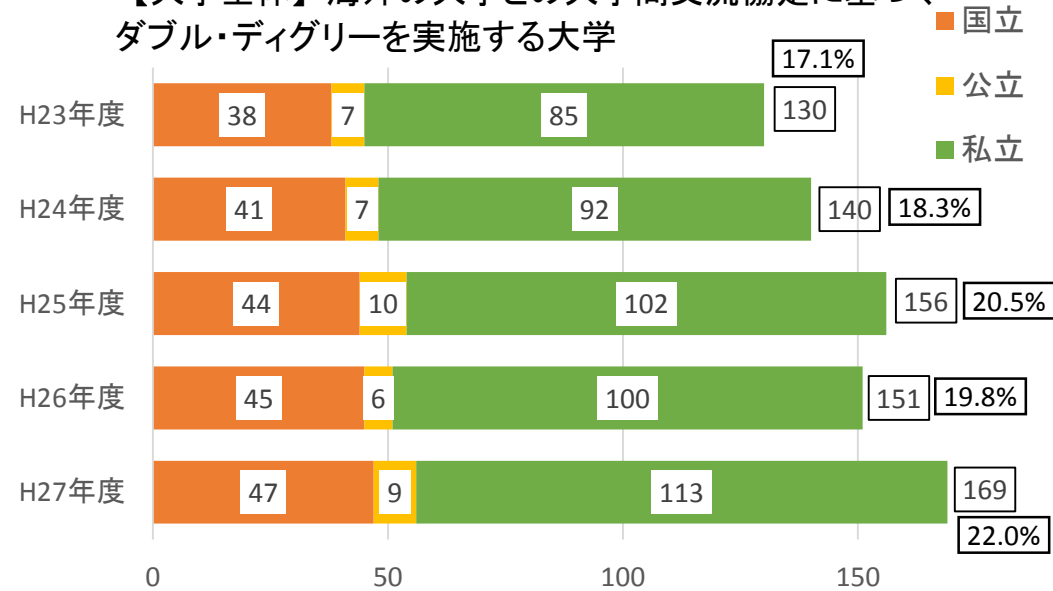
## <ダブル・ディグリー(DD)>

複数の連携する大学間において、各大学が開設した同じ学位レベルの教育プログラムを、学生が修了し、各大学の卒業要件を満たした際に、各大学がそれぞれ当該学生に対し学位を授与するもの。

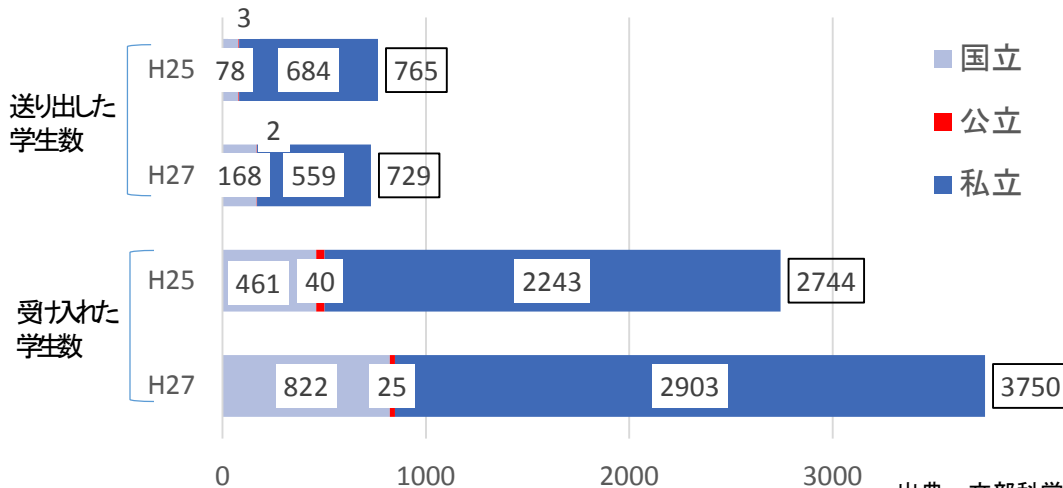
## <ジョイント・ディグリー(JD)>

連携する大学間で開設された単一の共同の教育プログラムを学生が修了した際に、当該連携する複数の大学が共同で単一の学位を授与するもの。

【大学全体】海外の大学との大学間交流協定に基づくダブル・ディグリーを実施する大学



【大学全体】海外の大学との大学間交流協定に基づくダブル・ディグリー実績(学生数)



◆ 海外の大学との大学間交流協定に基づくダブル・ディグリーを実施する大学は増加傾向にあり、活用する学生数も増加している。

# スコアカード（米国）、ユニスタッツ（英国）、大学ポートレート（日本）

## <スコアカード College Scorecard(米国)>

◆米国教育省が、ウェブサイト上に米国約7,000の大学等のデータを掲載。

- ①大学の基本情報
- ②教育プログラム
- ③平均年間コスト(家計収入別のコスト)
- ④卒業率・学生在籍率
- ⑤卒業生の平均収入
- ⑥奨学金受給状況
- ⑦学生に関する情報(正規学生数/聴講生数、人種別学生数、入学時の成績など)

他の大学との比較可能なデータ

## <ユニスタッツ Unistats(英国)>

◆イングランド高等教育財政カウンシル(大学への公財政の配分を担う)と大学・カレッジ入学サービス機構(大学入試手続を担う)が、各大学が提供する教育コース(学士課程と大学院)ごとに情報を一元的に提供。

- ①学生満足度
- ②就職と認証評価の状況
- ③学業の継続状況と学位の取得状況
- ④入学条件等の情報確認が可能

複数の大学の教育コースを選択して比較可能

## <大学ポートレート(日本)>

◆大学団体、認証評価機関等による自主・自律的な取り組みとして、日本の1000以上の大学・短期大学の教育情報を公表。

- ・大学・学部の基本情報、特色
- ・学生支援(修学、留学生、就職・進路等)
- ・教育課程(取得可能な学位、授業科目、授業方法等)
- ・教員(教員組織、教員数、教員の有する学位・業績)
- ・学生(収容定員、学生数)
- ・費用及び経済支援(授業料等、奨学金額等)
- ・進路(卒業者数・修了者数、進学者数・就職者数)など

### 【課題】

- ✓ 情報の内容が難しく、受験生や保護者に分かりやすい情報になっていない。
- ✓ 画一的なランキングにならないようにペーパービュー形式としているため一覽性に乏しく、大学間や経年の比較・検討が行いづらい。
- ✓ 取得可能な資格で検索できるなどの検索機能の充実が必要。

# 学修ポートフォリオ

## 学修ポートフォリオとは

- ・ 学生が、学修過程ならびに各種の学修成果（※）を長期にわたって収集し、記録したもの。
- ※ 学修目標・学修計画表とチェックシート、課題達成のための収集資料や遂行状況、レポート、成績単位取得表など
- ・ 学修過程を含めて到達度を評価し、自己省察することで、自律的な学修を深化させることを目的とする。
- ・ 教員や大学が、組織としての教育の成果を評価する場合にも利用される。

## 学修ポートフォリオを導入・活用している大学

